

## 「ENEOS創エネ事業」の展開

当社は、2011年度より、「省エネ（省エネルギー）」「再エネ（再生可能エネルギー）」「自立（自立型エネルギー）」をキーワードに、新エネルギーシステムの普及に取り組む「ENEOS 創エネ事業」を展開している。

2011年10月に販売を開始したSOFC型エネファーム（固体酸化物形燃料電池）は、「ENEOS 創エネ事業」の代表的な商品である。SOFCは、従来のPEFC型エネファーム（固体高分子形燃料電池）と比べて構造が簡素で部品点数が少ないため、将来的な低コスト化が見込める他、容積比で約40%の小型化を可能にし、より多くのお客様への設置が見込めるようになった。また、SOFCは日中の消費電力に合わせて発電し、深夜も冷蔵庫や待機電力などに電力を供給し続ける24時間連続運転を行うため、家庭で使用する電気の約70%を賄うことができる。

SOFCの販売に加え、「ENEOS 創エネ事業」のソフト面での中心的な施策として2012年6月から展開を開始した、家庭のエネルギー最適化を提案する、ENEOS エネルギー診断サービス「Dr. おうちのエネルギー」を通じて、家庭毎の「省エネ」「再エネ」「自立」へのニーズに沿って、新エネルギーシステムの導入のみならず、家電製品や住宅性能、省エネに関する行動面の改善までご提案できる体制を確立していく。

（システムインテグレート事業部 新エネルギー総括グループ 土田 恵里）



SOFC型エネファーム